

【ねがいはましては】

令和3年8月25日

KYOWA SCHOOL

第368号

「母のあり方」

別紙の作文をお読みになってどのようにお感じになりましたか。

この井出上 漠さんは、ユーチューブで検索されれば、実際にこの作文を発表している映像を見つけ出すことができます。中学3年生がここまで立派に発表できるのかと感心させられます。そして再びWebで「井出上 漠」と検索し、画像でご覧下さい。美しい少女？少年？ いずれにしても「美しい」がぴったりの画像をご覧いただけるとと思います。

彼のこれからの活躍を見守りたいと思います。

この作文、母との強い絆を感じさせられます。学校で周りに合わせようと努力しながらも、精神的に追い詰められてゆく我が子をしっかりと見つめる母がいます。母は合わせる方を優先せず、我が子らしさを優先しました。我が子らしく生きてくれればそれでいい……。

お母さま方が陥りやすいこと。例えば習い事などで考えてみます。ママ友たち10人が集まって何やら話しています。小学4年生になったばかりのクラスでの保護者会のあとでのことです。中学受験の話題になり、我が子を進学塾へ通わせるかの話題です。10人中8人の方が受験を考えているということになりました。さて、残りのお2人のお母さんは、どのような心境になるでしょうか。「あれ、今まで受験など考えてもいなかったけれど、ほとんどの方が受験されるみたいだ。私のところもさせた方が良いのかな？」などと、少し胸騒ぎ的感情に取り憑かれるかもしれません。つまり「弱気」が現れます。

周りがそうだから私のところも……。

同様のことが学校でも子どもたちの間で起こります。「みんな進学塾へ行ってる。私も行かなきゃ取り残されてしまうかも……。」

ここで冷静な判断力を発揮せねばならないのが、やはり母なのかもしれません。この漠くんのお母さんは100点の行動を取られたと思います。我が子を真正面から見つめる勇気をお持ちでした。周りのお母さまがそうだから、私のところも……が一切ないのです。「あなたらしく生きなさい。お母さんはいつでもそんなあなたの味方だからね。」

お互いの中に流れる『信頼』は、誰にも負かすことのできない崇高なものに感じます。同時に『しあわせ』を感じることができます。

アメリカの心理学者であるマズローさんの研究では、子どもの抱く願望の中で、次の2つのうちどちらが多いかを調べたそうです。

- (1). 自分自身のよろこびを得ようとする願望
- (2). 他人から認めてもらおうとする願望

結果は圧倒的に(2)だったそうです。つまり常に母から褒められたいという願望で毎日を生きています。

つまり、母が少年期に部活動でバスケットをしていたとします。そのことは小さい頃から随分と聞かされてきました。当然我が子も適齢期になればそろそろ部活動をしようかな、ということになります。その子は本当は本が好きで図書館通いをしたかったのですが、母の気持ちを考えると……とうわけで、バスケット部に入りました。当然練習も身に入りません。そのやる気を見ていた母はどういう感情を抱くでしょうか。

同じことを勉強に振り向けてみましょう。ご両親がお二人とも青年期に優秀な成績をとっていたとします。当然そのことをお子さんたちに話していたとします。子たちは学校の成績に関しどのようなイメージを抱くでしょうか。おそらく、常に良い点数を取らねばならないと思う傾向が強いのではないのでしょうか。マズローさんの言われる、他人から褒められたいという願望が子のすべてを覆います。母に褒められたいから勉強をする。母に褒められたいからバスケットをする……。それが大人になっても続いてしまうことが非常に危険だということです。

常に自分の願望を優先させるのではなく、他人の評価を気にしてしまう願望です。例えばある子どものいないご夫婦が犬を飼おうということになりました。妻は飼いたくてたまらないのですが、ご主人はあまり乗り気ではありません。なぜならこのように妻に言いました。「俺たち子どもがいない夫婦だと、子できないから犬を飼っている。という風に見られてしまう。だからあまり乗り気になれない……。」

おそらくこのご主人は幼少のころから他人の評価のみを気にしながら生活されてきたのでしょう。特にお母さま。

この漠くんのお母さまは違っていました。なぜなら漠くんは、お母さんに喜んでもらいたいという願望より、ぼくの生き方にお母さんは賛同してくれている。良き理解者になってくれている。そのような気持の方が強いとおもいます。つまり先ほどの(1)の「自分自身の喜びを得ようとしている。」にあたります。

さて、これをお読みになっているお母さまはどちらのタイプでしょうか。

『そんな僕を認めてくれたのは母でした。母は言いました。「漠は漠のままでもいいんだよ。それが漠なんだから。」漠の部分を我が子の名に変えて、伝えてください。〇〇のままでもいいんだよ……。」